



Mercedes-Benz

メルセデス・ベンツ S クラス

Press Information

2013 年 11 月 20 日

S 65 AMG long を追加発売

- ・ AMG 6.0リッターV型12気筒ツインターボエンジンによる圧倒的な動力性能
- ・ 専用デザインの迫力あるエクステリアおよびエクスクルーシブで上質なインテリア
- ・ 安全性、快適性を向上させる革新的機能:タッチパッド、ヘッドアップディスプレイをメルセデスとして初導入

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:上野金太郎、本社:東京都港区)は、8年ぶりにフルモデルチェンジを行ったメルセデス・ベンツの最高級セダン「S クラス」の最上級モデル「S 65 AMG long」を本日より開催される「第 43 回東京モーターショー2013」にてワールドプレミアするとともに、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて発売いたします。なお、お客様への納車開始は 2014 年年央を予定しております。

新型「S 65 AMG long」は、メルセデスのフラッグシップモデルとして、安全性と快適性、効率性など自動車に求められるあらゆる要素を高次元で究めた新型Sクラスに、メルセデスAMG社の開発による比類なきスムーズさと圧倒的な高出力を誇る 6.0リッターV型12気筒ツインターボエンジンを搭載した最上級モデルです。

搭載される V12 エンジンは、最新のターボチャージャー、マルチスパークイグニッションシステムを採用し、最高出力 463kW/630PS、最大トルク 1,000Nm の圧倒的なエンジン性能を発揮するとともに、燃焼効率の向上と滑らかで上質なエンジンフィールを実現しています。トランスミッションには伝達効率を高めた AMG スピードシフトプラスを搭載するとともに、ECO スタートストップ機能を装備し、燃費経済性を大幅に高めています。(従来モデル比約+17%・欧州参考値)

また、SLS AMG ブラックシリーズ、S 63 AMG longと同様、従来のスターターバッテリーの代わりに軽量リチウムイオンバッテリーを採用することで20kg以上の軽量化を図り、燃費と運動性能の向上に大きく貢献しています。

サスペンションには、「マジックボディコントロール」をベースとしたAMG スポーツサスペンションを装備、前方の路面の凹凸をステレオマルチパーパスカメラで捉え、路面状況に応じて瞬時にサスペンションのダンピングを制御することでボディに伝わる衝撃を最小限にしてフラットで極上の乗り心地を実現します。一方、スポーツモード選択時にはAMGならではの優れたハンドリングとドライビングダイナミクスを実現します。さらに、強大な制動力と高い耐フェード性を両立したAMG強化ブレーキシステムを採用しています。

エクステリアは、Sクラスの頂点に相応しく、ハイグロスクローム処理を施し、輝きを増したS 65 AMG 専用ラジエターグリルや、ロアクロスストラット、フリックを備えたフロントスポイラー、専用デザインのサイド&リアスカートにより上質な存在感を放ちます。また、16本のスポーク全てにねじりを入れるとともにセンターロックを想起させるホイールボルトカバ

ーを採用した20インチAMGマルチスポークアルミホイール(鍛造)は、徹底した軽量化により、バネ下重量が軽減されハンドリング性能の向上に大きく貢献します。エンジンルームには最上級のV12エンジンに相応しいAMGカーボンファイバーエンジンカバーを装備しています。

また、AMGスポーツエグゾーストシステムは、トランスミッションの“C”モード”選択時にはエグゾーストフラップを閉じることで長距離ドライブ等に最適な心地よいエグゾーストサウンドを、“S”、“M”モード選択時には加速時やシフトダウンの自動ブリッピング時などにエグゾーストフラップが開き、AMG V12モデルならではのエモーショナルかつ迫力あるサウンドを発生します。

インテリアは、シートやドアパネルに最高品質のナッパレザーをふんだんに使用しダイヤモンドステッチを施したフルレザーインテリアを採用しました。さらにルーフライナーにもナッパレザーを使用した他、AMG アファルターバッハエンブレムのエンボス加工を施したセンターコンソールや本革巻ウッドステアリングなどによりS 65 AMG longならではの贅を尽くし、上質を極めた空間となっています。

装備面では、メルセデスとして初めて、車速やナビゲーション等をウインドスクリーン上に投影し、前方から目を離すことなく運転に必要な情報を確認できるヘッドアップディスプレイ、COMANDコントローラー後方のタッチパネルに指先で触れることでセンターディスプレイ画面のスライドや拡大縮小、文字入力が行えるタッチパッドを新たに採用し、安全性および快適性が大きく向上しました。さらに、スプリットビュー機能を標準装備し、最新の車内インフォテインメントシステム「COMANDシステム」の12.3インチのワイドディスプレイに、ドライバー側にはナビ画面を表示しながら、助手席の乗員はDVDを鑑賞するなどそれぞれ異なる画像を楽しむことが可能となりました。

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

モデル	エンジン	ステアリング	メーカー希望小売価格 ()内は消費税抜き車両本体価格
S 65 AMG long	6.0L、V12 ツインターボ	左	¥32,000,000 (¥29,629,630)

* 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。なお、本車両は2014年5月以降、順次のお客様への納車を予定しているため、消費税 8%税込価格としております。

新型 S 65 AMG 詳細資料

完璧な形の「ドライビングパフォーマンス」を実現

12 気筒、ツインターボ、最高出力 463kW(630ps)、最大トルク 1000Nm — 新型 S 65 AMG はこのセグメントの新しい基準となる最強のモデルです。AMG 6.0 リッター V 型 12 気筒ツインターボエンジンは、比類なきパフォーマンスと卓越したダイナミズムを実現したばかりでなく、将来を見据えた新しい V12 サルーンとしてさらに燃費を低減し、ユーロ 6 排出ガス規制にも適合しています。また、AMG スポーツサスペンションは「ロードサーフェスキャン」による世界初の”目”を持つサスペンションとも言うべきマジックボディコントロールをベースとしたものです。デザインだけでなく、装備についても究極を目指し、ヘッドアップディスプレイとタッチパッドの 2 つの革新的装備を導入し、安全性、快適性も一層向上しました。

S 65 AMG は、ドイツのプレミアムメーカーの製品としては唯一のハイパフォーマンス 12 気筒モデルであり、しかもその血統は折り紙付きです。初代の S 65 AMG (V 220) は 2003 年発売、2 代目 (V 221) が 2006 年から 2013 年まで生産されました。

メルセデス AMG 社 代表取締役社長のトビアス・ムアースは次のように話しています。「好評を博した S 63 AMG に続いて、日を置くことなく新型 S 65 AMG を発表することになりました。その最高の装備と比類なきダイナミズムは多くのお客様を魅了するに違いありません。3 代目の S 65 AMG は、私たちの大切なカスタマー向けの唯一無二のハイパフォーマンスカーなのです」

主要諸元は以下の通りです：

	S 65 AMG
排気量	5,980cc
最高出力	463kW /630ps 4,800～5,400rpm
最大トルク	1,000Nm 2,300～4,300rpm
欧州 NEDC 総合燃費	11.9L/100km
CO₂ 排出量	279g/km
0～100km/h 加速	4.3s
最高速度	250km/h*

* リミッター作動

最高出力 463kW(630ps)、最大トルク 1000Nm を誇る AMG 6.0 リッターV12 ツインターボエンジンを搭載した S 65 AMG は、このセグメントにおいて他を圧倒しています。それは 0-100km/h 加速は 4.3 秒、最高速度 250km/h(リミッター作動)という性能データが物語っています。メルセデス AMG の 12 気筒ツインターボエンジンは、あらゆる速度域での圧倒的な加速性能や、AMG 独特の V12 サウンドとともにきわめてスムーズに回る回転フィーリングを特徴とします。ひと言で言えば、S 65 AMG は究極の洗練度とパフォーマンスを備えたモデルです。

従来モデルに比べて新型の NEDC 混合モード燃費は 2.4L/100km 低減され、V12 ハイパフォーマンスセダンとしては世界最高の 11.9L/100km を達成しました。さらに 2015 年より実施予定のユーロ 6 排出ガス規制にもすでに適合しています。

AMG 6.0 リッター V12 ツインターボエンジンに採用された主要技術は以下の通りです。

- ツインターボチャージャー
- アルミニウムクランクケース

- 鍛造スチール合金製クランクシャフト
- マルチスパークイグニッション(ツインスパークイグニッションユニット 12 個)
- 水冷式インタークーラー(低温回路付き)
- オルタネーターマネジメント
- ECO スタート&ストップ機能

AMG エンジンプレート付き専用カーボンファイバーエンジンカバー

ボンネットを開けると目に入る専用のカーボンファイバー/アルミニウムエンジンカバーもまた、6.0 リッター V12 ツインターボエンジンが特別な存在であることの証です。左右の AMG ロゴの間にはスリーポイントドスターが輝いています。V12 エンジン は、AMG の「ワンマン、ワンエンジン」の原則に基づき、きわめて厳格な品質管理のもとで手作業によって組み立てられています。スリーポイントドスターの下に貼り付けられたエンジンメカニックのサインが入った AMG エンジンプレートは、最高の精度と生産品質を保証するばかりでなく、メルセデス・ベンツのハイパフォーマンスブランドである AMG の DNA を受け継いだパワープラントの証です。

AMG SPEED SHIFT PLUS 7G-TRONIC

先に登場した SL 65 AMG と同様、AMG 6.0 リッターV12 ツインターボエンジンには AMG SPEED SHIFT PLUS 7G-TRONIC が組み合わされています。先代モデルの AMG スピードシフト 5 速オートマチックトランスミッションに比べて、新型の 7 速オートマチックトランスミッションはワイドレシオを持つために、エンジン回転数を抑えることが可能になり、これが低燃費の実現に大きな効果を発揮しています。他にも燃費節約型トルクコンバーターや低摩擦ベアリング、トランスミッションオイルの温度制御機構など、パワートレインの効率を大きく高めるシステムを採用しています。

AMG SPEED SHIFT PLUS 7G-TRONIC は、効率優先(C)、スポーツ(S)、マニュアル(M)の 3 種のドライビングモードプログラムを備え、センターコンソールのボタンで選択できます。S および M モードはスポーティーなドライビング向け、すなわち、全開加速時のシフトアップの際に緻密でごく短い点火・燃焼噴射カットを行うことによって

シフトタイムを短縮し、ダイナミックかつ刺激的な加速感を生み出します。一方、C モードではつねに ECO スタート&ストップ機能が作動します。

リチウムイオンバッテリーによる 20kg 以上の軽量化

S 65 AMG は、S 63 AMG と同様に、革新的なリチウムイオンバッテリーを採用しています。リチウムイオンバッテリーは一般的なバッテリーに比べて数多くのメリットを備えています。たとえば容量が 78Ah と大きいために、これひとつでスターターバッテリーと補助バッテリーを兼ねることになり、結果として 20kg 以上の軽量化が可能になりました。この高性能バッテリーはコンパクトで低温に対しても比較的強いという利点を持っています。S 63 AMG および S 65 AMG は量産車として世界で初めてこの種のバッテリーを採用しました。

マジックボディコントロールを搭載した AMG スポーツサスペンション

S 65 AMG は、マジックボディコントロールをベースとする AMG スポーツサスペンションを標準装備しています。新型 S クラスは世界で初めて前方路面の凹凸を認識できるロードサーフェススキャン機能を搭載しています。ロードサーフェススキャンシステムのステレオカメラが路面の凹凸を検知すると、マジックボディコントロールがその路面状態に応じてあらかじめサスペンションを制御します。また、ドライバーが「コンフォート」モードと「スポーツ」モードを選択することも可能です。フロントの 4 リンクサスペンションと、リアのマルチリンクサスペンションは、ダイナミックなドライビングのために、よりダイレクトな特性を実現する一方、マジックボディコントロールをベースとする AMG スポーツサスペンションにより、長距離も苦にしないメルセデスならではの快適性を実現しています。

S 65 AMG は、ESP[®]ダイナミックコーナリングアシストを標準装備しています。コーナリング時に内側の後輪にブレーキをかけることによって、正確で俊敏なコーナリングを可能にします。つまり、コーナー進入時のアンダーステアは過去のものとなりました。

可変ステアリングレシオを備えた AMG 車速感应スポーツステアリング

可変ステアリングレシオを備えた電動式 AMG 車速感应スポーツステアリングは、ハンドリングと俊敏性を高めつつ、高速走行時の安定性にも寄与しています。サスペンションモードの「コンフォート」を選んだ場合、ステアリングアシスト量を増やして快適性を高め、また「スポーツ」モードを選択した時にはしっかりした手応えを伝えるようにアシスト量を制御します。パワーアシストのレベルは路面からのフィードバックとステアリングの正確さを確保するために予め設定されています。

軽量構造の AMG アルミホイール

S 65 AMG には専用の AMG 鍛造アルミホイールが初めて採用されました。このホイールは強度を高めるとともに軽量化を実現したデザインで、これによってバネ下重量が低減され、ハンドリングやスプリング／ダンパーの応答性を向上させることができました。

マルチスポーク鍛造アルミホイールは、伝説的なメルセデス 540 K に装着されていた 1930 年代のスポークホイールを現代に蘇らせたものと言えるでしょう。特に 16 本のスポークすべてがねじられている独特のデザインは、ホイールの中心に向けて光が伸びているような効果をもたらし、ホイールをより大きく見せます。またモータースポーツで用いられるセンターロックを想わせる、ねじ込み式一体型ホイールボルトカバーを採用しています。このデザインのおかげで AMG 高性能ブレーキシステムがはっきりと見て取れます。

AMG 鍛造アルミホイールの比類なき美しさの秘密は精巧な仕上げ工程にあります。最初のポリッシュ工程の後で、手作業による研磨を行っています。異なる研磨ペレットを用いた 2 種類の磨き工程が深い光沢を生み、その後の洗浄を経てクリア塗装によるシール加工などの最終仕上げが施されます。

AMG カーボンセラミックブレーキをオプション設定

AMG の高性能モデルはすべて強力なブレーキング性能を備えています。言うまでもなく S 65 AMG も、重量を最適化したコンポジットディスクを採用した AMG 強化ブレーキシステムを搭載しています。さらに、オプションとして AMG カーボンセラミックブレーキも設定されています。これは 20% 以上も軽量であるためにバネ下重量が小さく、運動性能や乗り心地に貢献するうえに、耐久性や耐食性、熱安定性にも優れているという特徴を持っています。フロントディスクは 420mm 径で、専用塗装のブレーキキャリパーに“AMG CARBON CERAMIC”のロゴが輝いています。

デザイン: 「明瞭な官能性」にダイナミズムと高級感を融合

S 65 AMG は技術面だけでなく、デザイン面でも特別なモデルです。クラシックなアーキテクチャーと流麗なプロポーションを特長とするメルセデス・ベンツならではの「明瞭な官能性」を、AMG 独自の表情豊かなデザインと融合させました。ラグジュアリーでありながら威厳があり、パワフルなうえに上質感にあふれ、ダイナミックな走りを可能としながら prestige 性を備えた車 — S 65 AMG はその自信に満ちた外観により見る人の心を惹き付けます。計 6 本のツインルーバーとハイグロスクロームからなる V12 ラジエターグリルは、より大きく、より垂直に近づけるとともに、より立体的な造形とすることで、このモデルの見間違えることのないステータス性を強調しています。フロントエプロンは AMG の“A”の文字を象ったもので、S 65 AMG の持つ上質さとパワーが力強く表現されています。

ハイグロスクローム — S 65 AMG では上質さを強調する目的でこの素材を使用しています。これは、ダークカラーのペイントと組み合わせた場合に特に魅力的な外観となり、グリルやサイドエアインテーク上のフリック(エアディフレクター)に用いています。ハイグロスクロームの立体的な形状のフロントスプリッターは車体前部に働く揚力を低減するいっぽう、フロントスプリッターの上部にはすき間を設け、その奥に設置されたエンジンオイルクーラーに冷却気を効果的に導いています。また、サイドシルパネルのインサート、それにハイグロスブラックのリアディフューザーにあしらわれたインサートのトリムにもハイグロスクロームを使用しました。

そのほか、フェンダーの“V12 BITURBO”ロゴやトラックリッドの“S 65 AMG”エンブレムも専用のデザインで、モダンな新デザインが採用されています。また、デュアルツイ

ンクロームエグゾーストエンドを備えた AMG スポーツエグゾーストシステムは、視覚と聴覚を熱く刺激します。

室内は魅力的な装備を満載するとともに最高のクオリティを実現

上質さやラグジュアリー性に、卓越したスポーティーデザインを融合させたS 65 AMGのインテリアは、想像を超えた豪華さと選りすぐりの素材、そして最上のクオリティで乗員を魅了します。とりわけ目を惹くのが、シートに用いられた高級ナッパレザー、それに特別なダイヤモンドステッチを縫い込んだシート表皮のデザインです。このAMGスポーツシートの本革カバーは穿孔加工の施し方に特長があります。コントラストを織りなすトップステッチをあしらった部分のナッパレザーにはあえて穿孔加工を施していません。これにより、縫い目を非常に美しく見せるとともに、驚くほど高い質感を実現しています。さらに、ナッパレザールーフライナー、本革ライニングを施したダッシュボード、ダイヤモンドステッチを施したドアセンターパネル、本革巻ルーフGrabハンドル、追加ウッドトリム、AMGステンレススチールステップカバー（ホワイトイルミネーション付）などが採用されています。

専用に開発された AMG スポーツシートは長距離走行時の快適性を最大限確保するため、電動調節、メモリー機能、シートヒーター、クライメートコントロールを標準装備しています。また、形状を一新したシートクッションとバックレストを採用することで、高速コーナリング時のラテラルサポートを改善しました。4 つのシートバックレストすべてに高い質感の AMG エンブレムも標準装備。さらにフロントのセンターコンソールには AMG のエンブレムをエンボス加工しています。なお、後席に左右独立シートを備えるファーストクラスパッケージを選択した場合は、リアセンターコンソールにも AMG のエンブレムがエンボス加工されます。くわえてシートバックのトリムにも AMG のエンブレムをあしらいました。

思いのままに車をコントロールできる 2 スポークタイプの AMG スポーツステアリングホイールは、リムを専用デザインのナッパレザー巻とし、さらにグリップ部に穿孔加工を施しました。ステアリング下部に埋め込まれたプレートにはお馴染みの AMG ロゴが描かれています。また、アルミニウム製シフトパドルによるマニュアルギアシフトも可能です。AMG スポーツステアリングホイールの右側に並んだエアアウトレットの間には、IWC が専用にデザインした特別なアナログ時計を配置。この時計には立体的な圧延金属針と、文字盤には本物の金属を使用したレタリングを用いていま

す。さらに AMG ロゴをあしらったクロームメッキの AMG ドアロックピンが S 65 AMG の優雅なインテリアに華を添えています。

円形メーターを CG で映し出す AMG インストゥルメントパネル

高解像度 TFT カラーディスプレイを用いた AMG インストゥルメントパネルには、CG (コンピューターグラフィック) 化された 2 つの円形メーターが映し出されます。ディスプレイ向かって左側には AMG ロゴをあしらったフルスケール 360km/h のスピードメーター、そして右側のレブカウンターには“V12 BITURBO”ロゴを添えたほか、どちらも AMG 専用の文字フォントと針(レッド+シルバー)を用いるなど、AMG 独自のデザインが施されています。また、右側のディスプレイには AMG のスタートアップ画面がアニメーション方式で表示されます。そして AMG メインメニューの上部には、デジタルスピードメーターと常時表示型のギアインジケーターが映し出されます。さらにシフトモードを“M”にすると、レブリミットに達する少し前にシフトアップを促す表示を行います。また、AMG メニューで“Warm up”を選ぶと、エンジンオイルとトランスミッションオイルの温度を表示する 2 個の円形メーターが現れます。さらに“Set Up”を選択した場合は、トランスミッションとサスペンションのモード、それに現在選択されている ESP[®]モードが表示されます。TFT ディスプレイ上ではスピードメーターとレブカウンターの間に S 65 AMG の車両が CG で表示され、様々な情報を映し出します。

快適性と安全性に貢献するヘッドアップディスプレイ

S 65 AMG では、ヘッドアップディスプレイとタッチパッドという 2 つの革新的な装備を導入しました。ヘッドアップディスプレイは、車速、制限速度、ナビゲーションガイド、交通標識、ディストロニック・プラスの作動状況などの重要な情報をウインドスクリーンに投影し、あたかもドライバーの前方約 2m のボンネット上に 21×7cm のカラーディスプレイが浮かんでいるかのような表示を行います。つまり、ドライバーの視界の最適な位置に重要な情報が映し出されるため、ドライバーは前方から視線を離すことなく、必要な情報を知ることができます。さらに車速をデジタル表示するほか、エンジン回転数やシフトポジションも映し出されます。また、シフトモードをマニュアルにすると、シフトアップのタイミングをカラーバーで表示するとともに、セレクト可能なギアがウインドスクリーンに投影されます。

コントラストの優れたこのディスプレイは周囲の明るさに応じて輝度の自動調節を行いますが、ドライバーが好みに応じて手動で調節することも可能です。ウインドスクリーン上のヘッドアップディスプレイ表示位置については、高さを調節できるほか、メモリー機能によりこの設定を保存することもできます。

操作性を飛躍的に高める革新的タッチパッド

メルセデス・ベンツが新たに開発した革新的なタッチパッドにより、ラジオや電話、ナビゲーションシステムなどの操作性が大幅に向上しました。一般的なシステムと異なり、このタッチパッドはすべてのインフォテイメント機能の操作が可能です。入力部のサイズはおおよそ 6.5×4.5cm で、キーパッドのカバーとともにハンドレストと一体化されています。操作方法はスマートフォンやタブレット端末と同じで、1 本または 2 本による指の動き、指を滑らせる動き、2 本の指による拡大もしくは縮小の動きなどを認識するほか、文字や数字、特殊文字の手書き入力も行えます。また、COMAND オンラインで使用できるすべての言語に対応しています。なお、タッチパッドの表面は、ハイクオリティなハイグロスブラックとシャドウシルバーで仕上げられています。

新たに採用されたタッチパッドの操作面は、セントラルコントロールユニットのハンドレストと一体化されており、安全かつ簡単に入力できます。タッチパッドの後方には 3 つのタッチ式ボタンがあり、リターン、お気に入りメニュー、オーディオクイックメニューといった主要機能をダイレクトに、そしてすばやく操作できます。また、タッチパッドやタッチ式ボタンは操作時に明確な手応えが感じられるように設計されています。もうひとつのハイライトは、新開発のハンドレスト認識機能です。3 次元センサーからの信号を解析することで、ドライバーが手をハンドレストの上にただ載せているだけか、1 本または 2 本の指で実際に入力を行っているのかを判断。これにより、誤入力を防ぎ、安全性を高めています。なお、ユーザーはいつでもお好みの入力方法を選択でき、タッチパッド以外にも COMAND コントローラーや音声認識機能により、ラジオ、電話、ナビゲーションシステムを操作できます。

S 65 AMG ではこのヘッドアップディスプレイとタッチパッドを標準装備しています。これらの機能は他のモデルにも順次導入される予定です。

これは、2013 年 11 月 8 日にダイムラーAG から発表されたプレスリリースの日本語抄訳です。

インテリジェントドライブ：安全性の新たなベンチマーク

S 65 AMG はアクティブセーフティ、パッシブセーフティの面でも新たなスタンダードを打ち立てました。10 年前の PRE-SAFE®に始まり、ディストロニック・プラスに受け継がれた流れが、いまやまったく新しい時代を切り開こうとしています。それが快適性と安全性の融合で、メルセデス・ベンツではこれを「インテリジェントドライブ」と呼んでいます。